

Centimetres

KODAK Color Control Patches

© The Tiffen Company, 2000

Kodak
LICENSED PRODUCT

3/Color
Black

Blue

Cyan

Green

Yellow

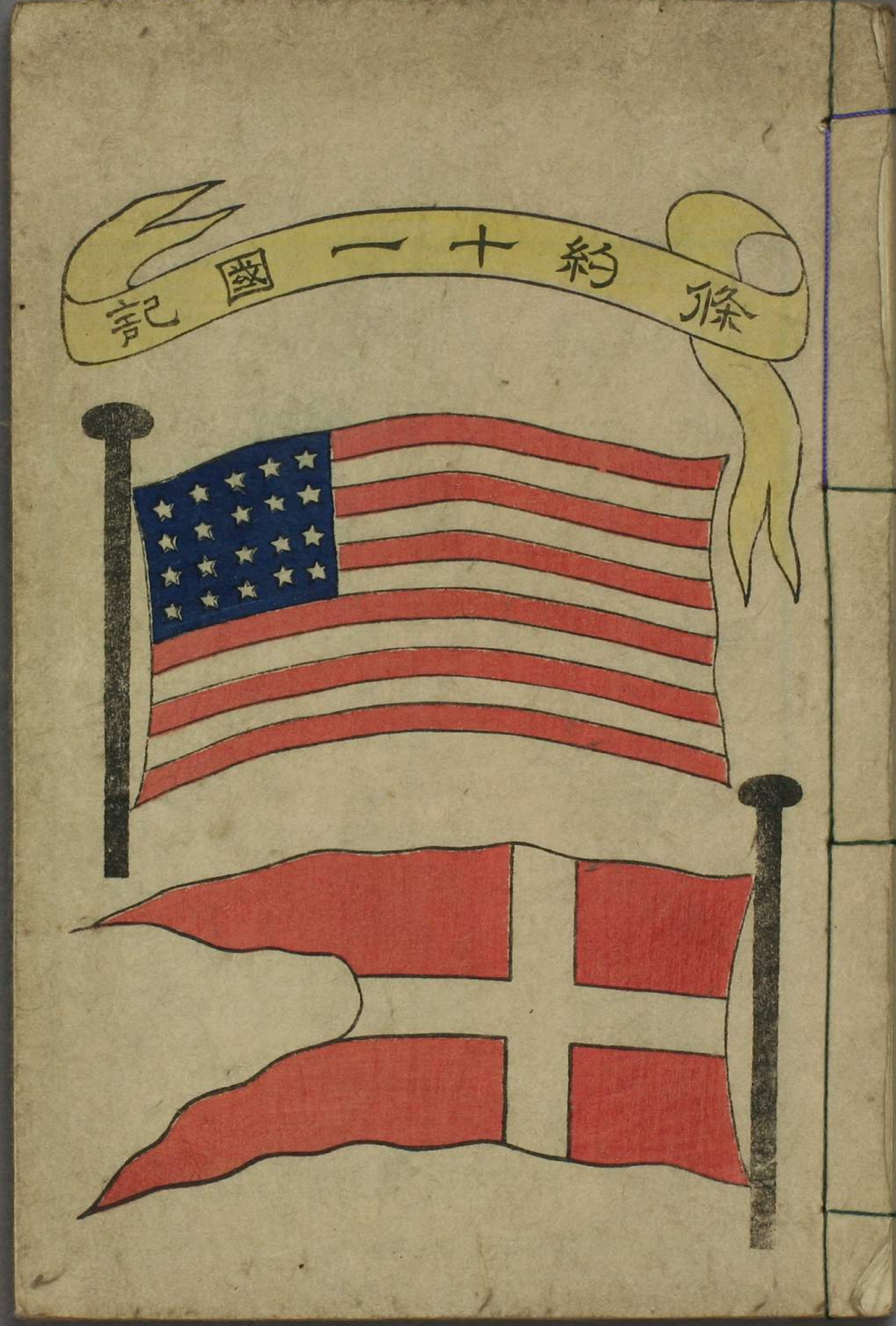
Red

Magenta

White

3/Color

Black



慶應三年丁卯仲冬

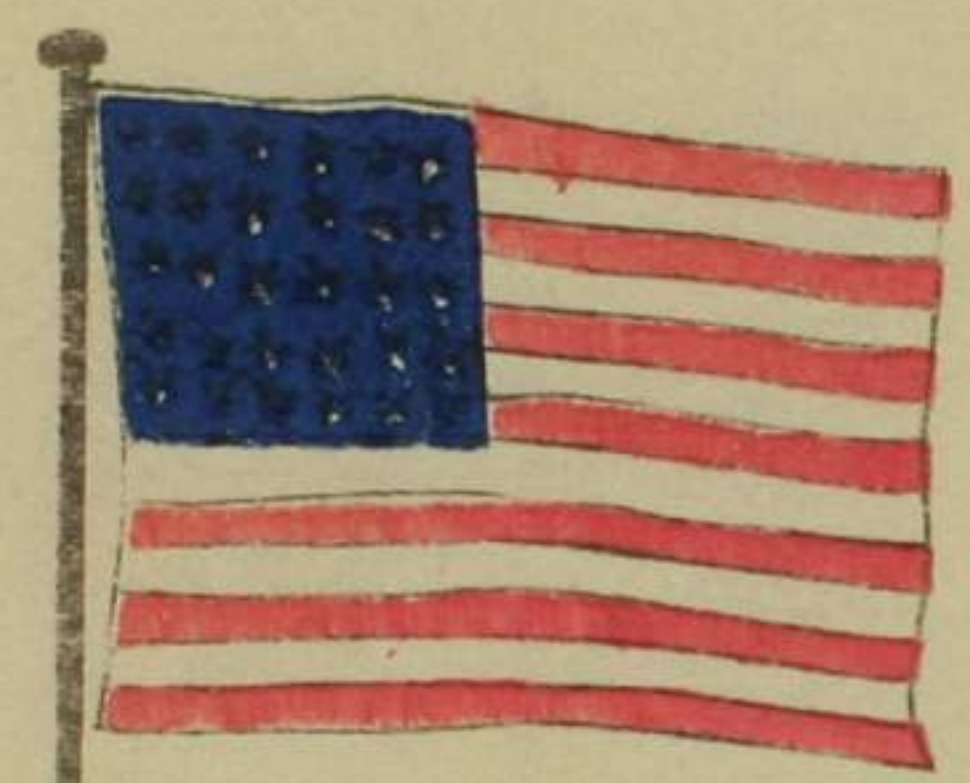


條約十一國記

福澤氏藏版

條約十一ヶ國旗章

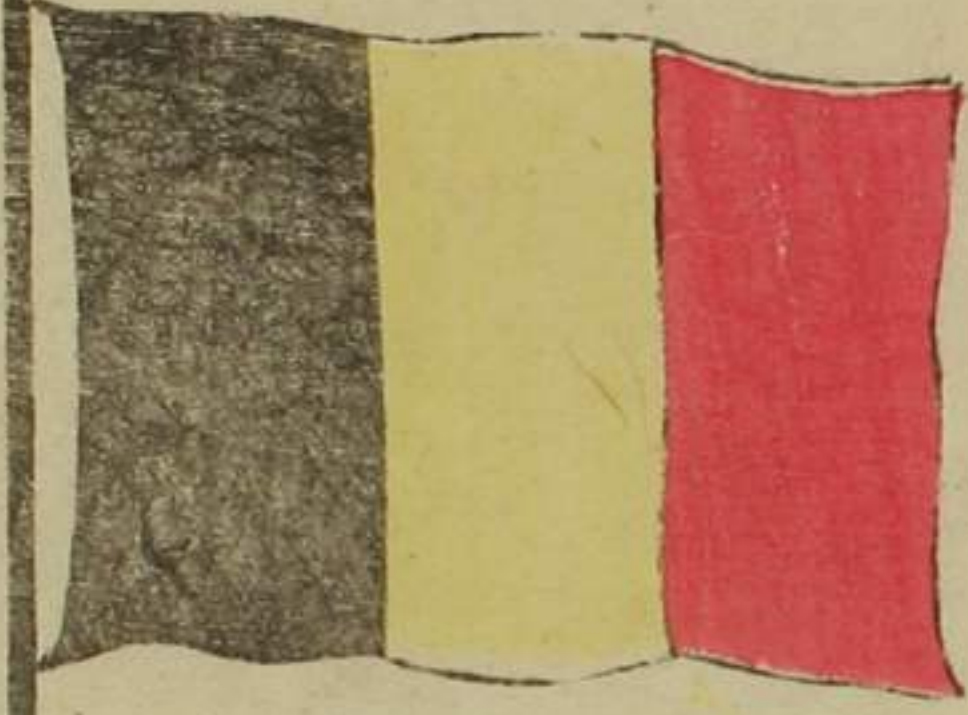
ていやくじゅういちこくはたじょう



あめりか
亞米利加
國中の人別
三千二百万人



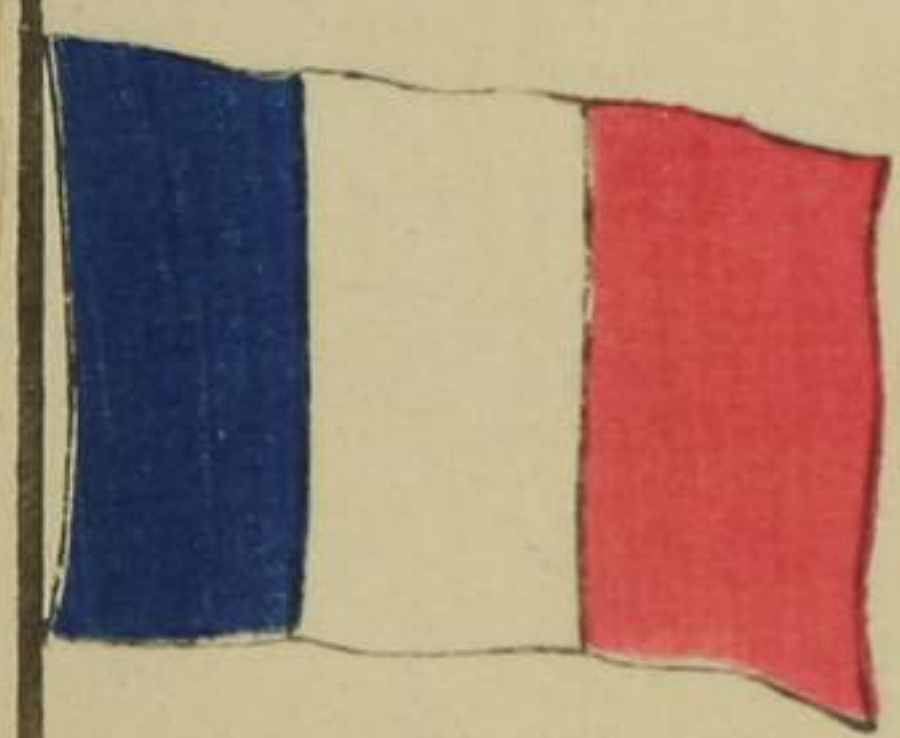
おらんど
和蘭
國中の人別
三百万人



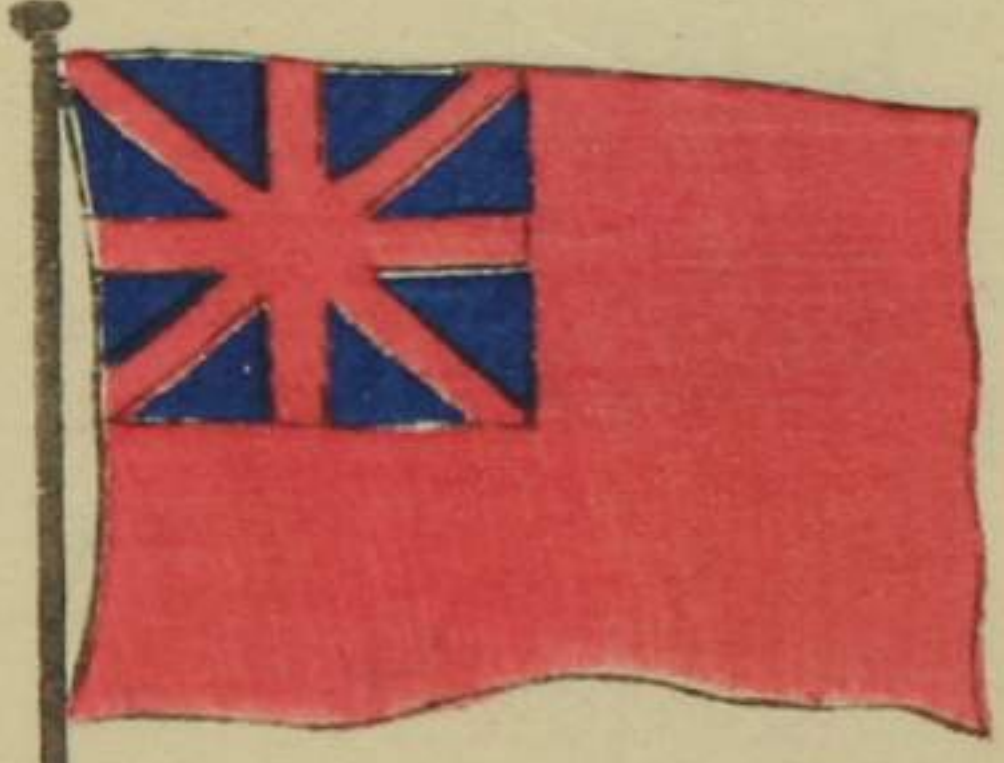
白耳義 べいじぎ
國中の人別
四百四十万人



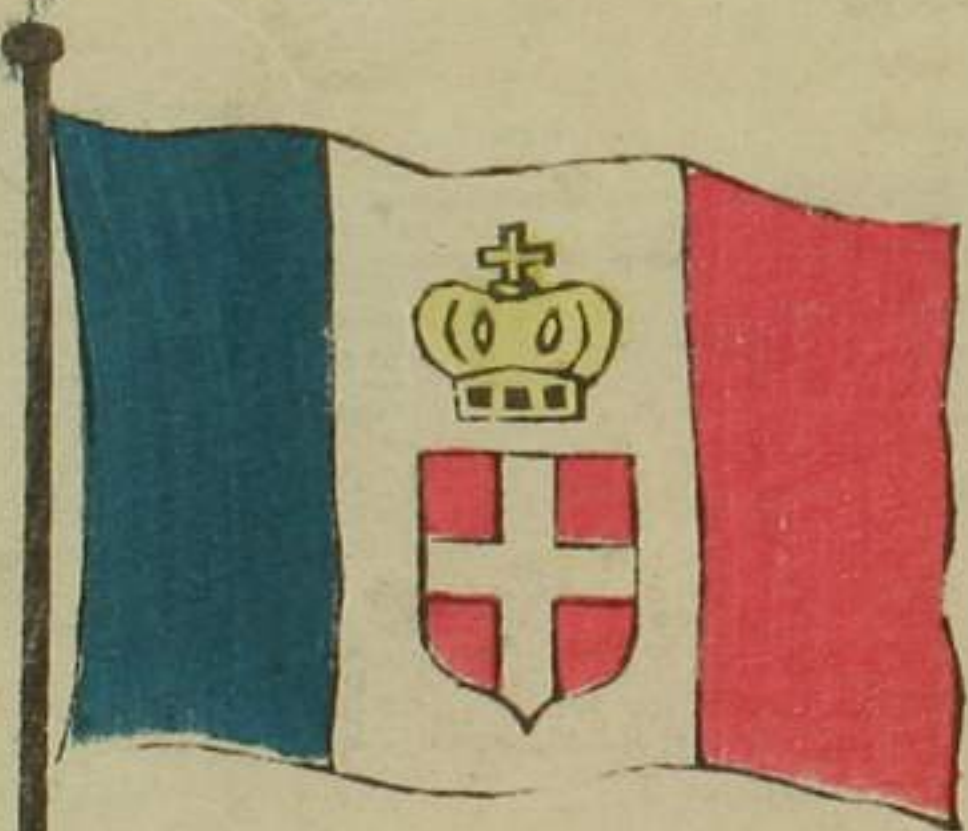
オランダ おらん
國中の人別
十六百万人



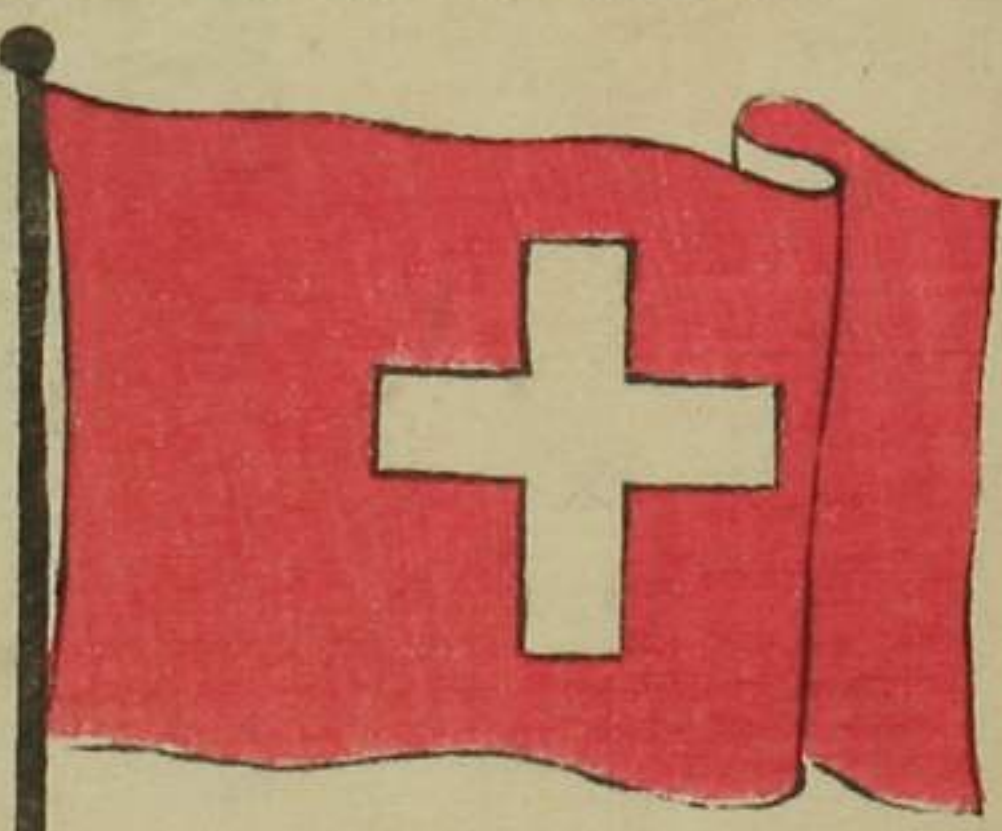
佛蘭西 ふらんす
國中の人別
三千五百万人



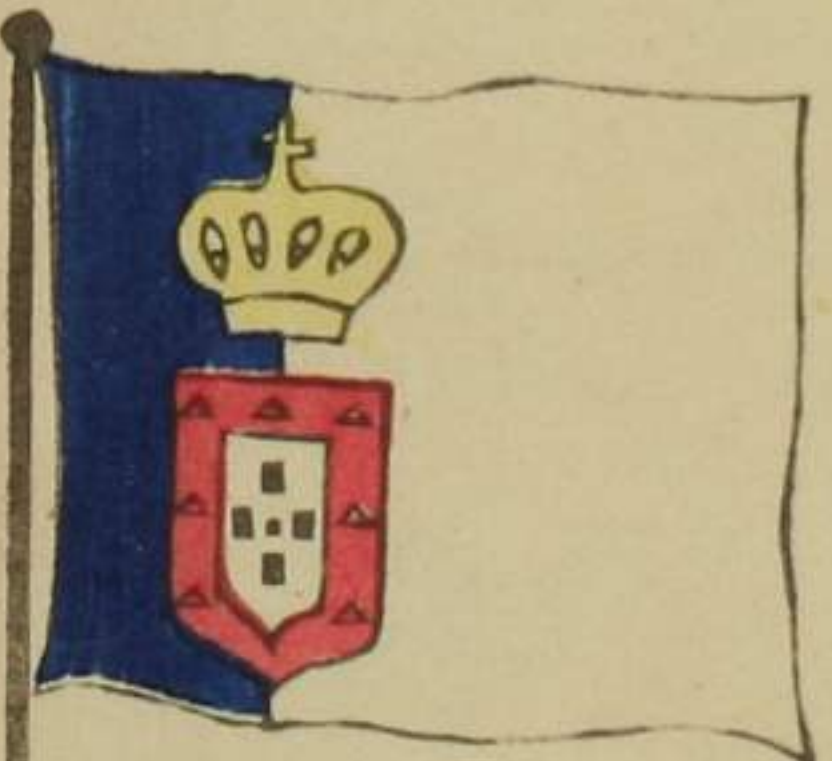
英吉利 いぎりす
國中の人別
二千七百万人



伊太里 いとうり
國中の人別
二千万人



瑞西 おざる
國中の人別
二百万人



葡萄牙 かすとが
國中の人別
三百五十万人



魯西亞 ろーや
國中の人別
六百万人

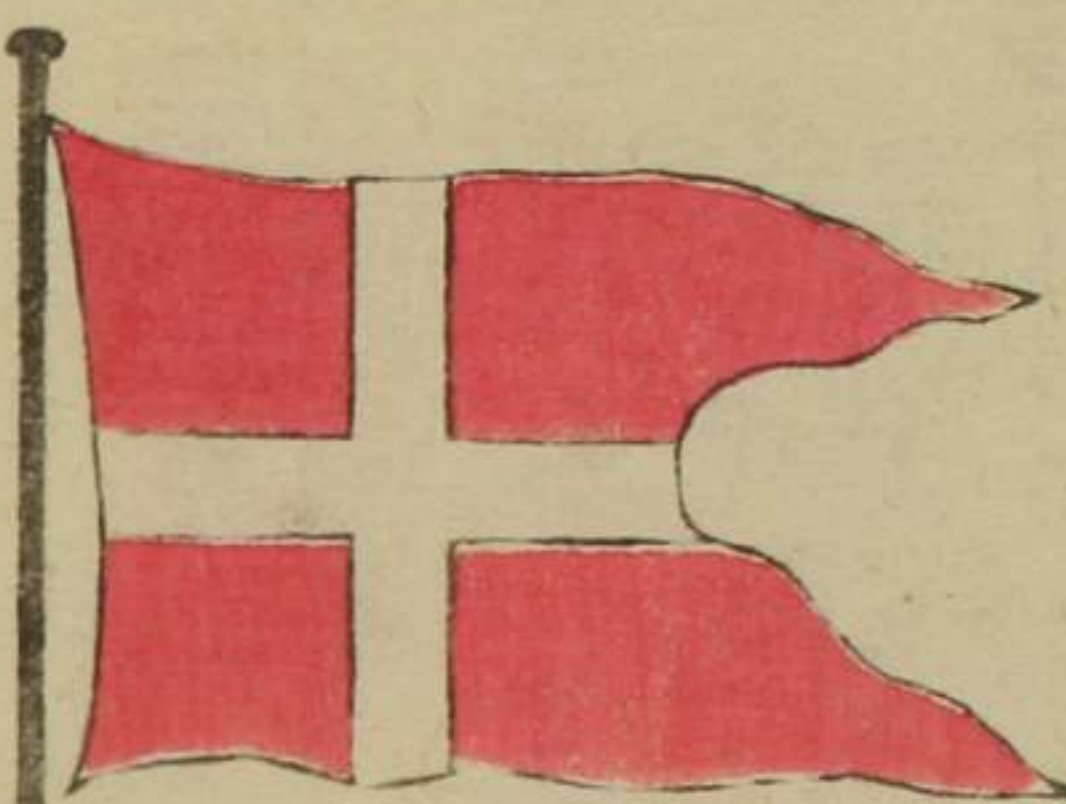


條約十一國記

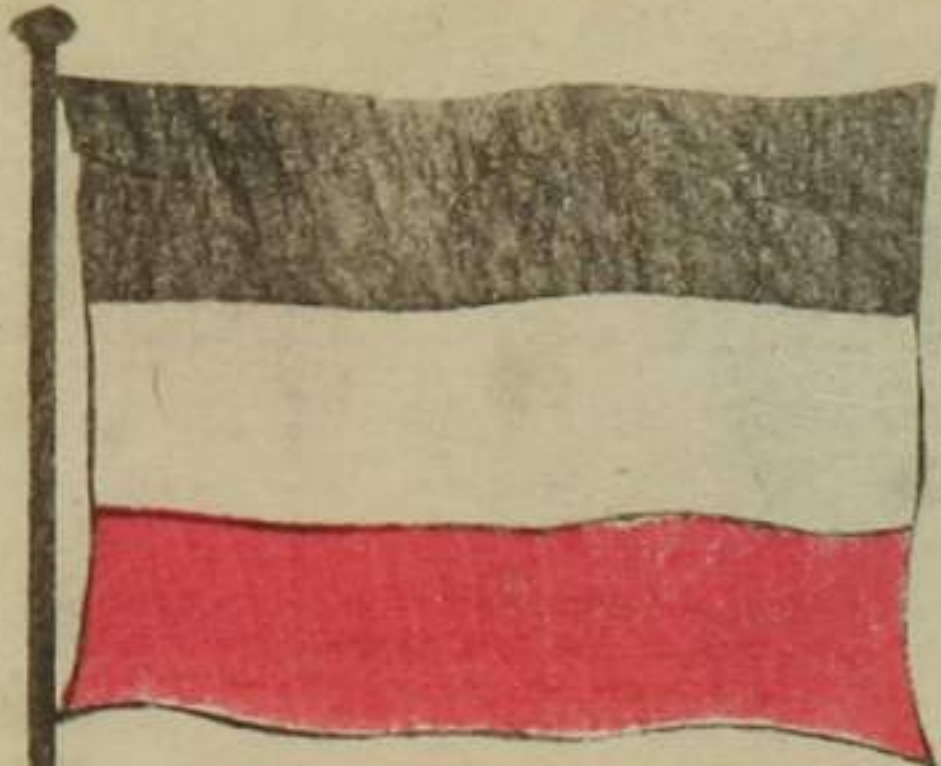
條約十一國記の和解
 條約といふ約束といふまとこれと此國と彼國と永
 代睦トク附合其國の産物とも互に賣買をす
 この趣と固く取極とするものなり其取極の箇条
 と證文に認る兩國双方の間取替せしものと
 條約書といふ安政五年より今茲慶應三卯年
 まづ西洋の國々より日本へ來て條約と結び條
 約書と取替せしもの十一國ありて其國の人々
 日本の交易場へ住居をす者も多し然るに我國



右の外軍艦の旗章をど色々あまども其数多し
 是はあまに畧す



丁抹
 國中の人別
 百五十万人



字漏生の新旗
 慶應三年改る

にて下々の人の外國の様子と知らざ外國人と
見まば一口に唐人唐人といふ者多けきども既
み條約とも取結び一國のおとまはば唯其國の
人と見ると斗にて其人の何といふ國より來て其
本國の模様は如何なる哉といふおとと知らざ
るはあまり不都合なる由一おの小冊子に其
國々の大小強弱人情風俗政事の立方とも極々
あらまゝに記して條約十一國記と表題と附と
るなり

條約十一國記

福澤諭吉 著

亞米利加は日本の東五千里の所ある國なり
其都とわーんとんといふ國人の數三千一百万
人世界に名高き大國なり一体亞米利加とは世
界五大州の内の一州にて南亞米利加と北亞米
利加と二分是其内に色々の國ありて今日本
にて亞米利加と唱ふる國は北亞米利加州の内

條約十一國記

合衆國といふ國なり故に其名目と紀せば北
亞米利加之合衆國といふ處き筈なまども南北
亞米利加と舉て一番大なる國は合衆國なる由
へ亞米利加といふ名と合衆國に取らま亞米利
加といひは合衆國のまとい通用をるなり
わしんとんは其都なまども格別繁昌の場所
あらま亞米利加ふて一番繁昌なるはにうよる
くといふ所なりまの所へ人数の百万人もあり
て商賣の盛なるまとい日本にて大坂ともいふ

海と都會あり

わしんとんにうよるくは亞米利加之西側にて
日本より五千里もあまども其東側にさんふら
んしをことて一の港ありまの港へ下度日本の
真東に當り道程二千五百里斗の所にて飛脚船
に乗まは二十日あまりにて行く處しまの所も
起立以來二十年に足らざる新港なまどもよき
場所柄なり
此國の周圍五千里斗東西に長し其差渡し凡そ

千四百里あり産物ハ國の東の方に牧多く牛馬
 羊等と畜ふ西の方ハ小麦蜀黍南の方に綿
 烟草砂糖又金物織物等の産物ハにうよるく
 ふもとんあどい一る所と始として都て國の西
 北の方に多一外國との交易繁昌して一年の間
 に外國へ出外國より來る商賣船四五万艘もあ
 る由り
 金銀銅鉄の類も多く殊にさんふらん一まこの
 近邊ハかりほるふやといふ所にて世界中に比

ちむん金銀の多く出る場所あり
 此國ハもと英吉利の領分なり一が今より八十
 二年前彼國の千七百七十六年一彼國の改り
 三年卯年一彼國の十八百六十七年一茲當即ち日
 本の安永五年其國の人義兵と擧てあ一人とん
 といふ人と大將に立英吉利と八年の間合戦一
 てあまに打勝ち遂に獨立の國となり其後追々
 農業と勉め産物と開き諸國と條約と取結て交
 易と盛に一國富兵強くして英吉利佛蘭西あど

の大國とも押付る程の勢とまほり
 此國よは國王あく輪番持の政事あり其頭取と
 大統領といふ國中の人入札にとまきと撰び四
 年の間大統領の職と勤まば又入札ふて其交代
 の人と撰ふ其外諸役人と引揚るにも大抵入札
 にて四年々六年の間役と勤まば又新規の人と
 用る風俗あり

和蘭又荷蘭又和蘭陀又和蘭
 和蘭の旧來日本と交易し長崎の出嶋に商館も

あり一とあつたや、亞米利加人渡來の後新に條
 約と取結て外國々と同様の振合ふなり横濱其
 外の港つも來る交易商賣とせり
 此國往古ハ兵力強く交易盛に一と英吉利など
 にて和蘭に負はるほどのおとあり一が其後
 追々に衰微して尚又彼國の千八百三十年即ち
 日本天保元年に至り國中ハ騷動ありて二に
 分是てより國も狭くまり當時ハ國人の數三百
 万人斗にと迎も英吉利佛蘭西などに及むをぞ

とも古來より國の風俗に交易商賣の上手也
國の地面の平地にて低し且一休の濕地にて農
業に不都合なまども多く牧と開く牛と飼ひ
其乳汁にてほふとるなどと製し諸方へ積出さ
和蘭のちむんの産物なり
和蘭の都ともあげといふ唯國王の住居する所
に商賣の場所あらむ外國の交易繁昌する
所ありあむもとるだむといふ都會あり此所は
よき港もあり且市中に堀割の川多くして川舟

の運送甚ど便利あり川々に橋の数三百も有り
て市中の掃除よく行届けり一休和蘭人の奇麗
好といふ評判あり國あり
都て和蘭人の質素儉約にて學問も商賣にも
出精をよき風俗あり又男子の烟草と好む彼
國の諺に「一烟管とせぬ和蘭人と見よ」と
ありといふ程あり烟草なども國々の風俗人々
の好惡に或は巻烟草とのむ者もあり或は刻
烟草とのむ者もあり亞米利加人の嚙烟草とて

餅のよふに固めたる烟草を口に入きて嗜む者
多し日本人の目にて見ればたまらぬまとは
ども其人々の習にて烟を吹きよるもよま
あり
和蘭の本國は狭き國あまも世界中方々一領
地多く爪哇あど一嶋は日本の西南千五百
里斗の所にありて和蘭の領分中に一番よき所
あり

英吉利は西大不列顛又英國

英吉利は歐羅巴州の西北の方には離れてるんが
らんどをとりとらんどもといふ三
箇國と合せると一の島國あり廣さ大抵日本と
同ト位に國人の數二千七百万人余産物の多
く交易の盛あるは凡そ世界第一ありべし自國
の商賣船斗にても三万五千艘の余あり國內に
て製する産物の絹布更紗羅紗呉縞服の類又金
物の道具類も多し土地に出來る物の麥麻芋の
類より但し寒國ゆて米は出來ず

英吉利の都と「ろんどん」といふ市中の中二里長
 さ三里半住人の数三百万人に近し都の中程に
 て「ハム」といふ大河あり其中ハ江戸の隅田川
 と同ト位多きども隅田川よりも深し河の兩岸
 小船入幾個所もありて諸國の賣船多く出入
 交易繁昌なり此河ハ架さる橋の数八つ何れ
 も石橋又ハ鉄の橋にて木の橋ハ一又其河
 下ハ至りてハ「ヒム」といふ珍らしき仕
 掛わりあるハ河の兩岸より地の底と掘て通抜

の洞穴と造り石垣に其内と疊詰り往來の道
 とあり水底の又其底と徒歩に「行くよふに」
 たりものあり故ハ此洞穴と通抜て向岸に渡り
 ときハ固より目ハ見「つぎ」とも川の舟ハ頭
 の上と往來をさるなり
 英吉利ハ嶋國にて敵の來るまとも少き故に
 陸軍の人むハ少けども海軍ハ萬國に勝さる
 ものあり軍艦の数千艘に近く本國の要害にも
 備へ又世界中を見廻て自國の商賣船と守護せ

英吉利人の世界中に威勢を耀せし全く此海軍ありに由てあり

英吉利の本國はさまで大國もあらざること其飛地領分の廣さ他に比類なく凡そ五大州の内は英吉利の領分あらざること一當時世界中第一の國なるべし魯西亜など國の廣さ世界に及ぶこと國民の數に至ては地も支那英吉利に及ぶことなり

英吉利の人の金持と貧乏人と學者と文盲と打交て甚ど不揃なり數百萬兩の身代に大名家に居る者もあり裏店住居にて朝夕の暮向み固る者もあり文學藝術世界に名高き大先生もあり無學文盲一字と知らざる者もあり又國中一体に衣服よりも食物に奢る風俗なり英吉利人の喰倒佛蘭西人の着倒といふ諺あり
英吉利の政事ハ國王一人の自由ならず國中家柄の人々寄集り評議をまゐる者と上院の評議

役といひ又町人百姓より入札に人撰
 役人として院の評議役といふ右
 上院と下院と國王の政事向と取扱ひ
 若し國王の我終にて運上の取立方
 罪人の仕置等のおとに付無理と
 するおとあはば此評議役にて取押
 した仕來なり國王の位も立つ者
 の男女とも差支なく當時の女王に
 と其名をひくとりやといふ
 魯西アジア又俄羅斯又
 亞細亞州と亞米利加州と

三大州に跨り國の廣きものと凡そ
 世界中と六に分て其一分は魯西
 亞の領分なりさども地面の割合
 ふして人の數少く六千四百萬人
 に足らず魯西アジア他の歐羅巴
 諸國と違ひ國の開け遅くして
 千六百年の末年候まで旧舎國
 ありしが其頃彼のといふ英雄
 の君位に即てより大に國と改
 革し内乱と取鎮め外國に打勝ち
 彼のといふをばふといふ所へ
 都と移し始めて大國の名と得たり

魯西亞の産物に外國へ積出せるものハ五穀材
 木鉄皮麻の類より近來ハ又木綿縮布毛織物瀨
 戸物硝子紙等も製して國の産物とせり又
 りヤといふ所に金山あり罪人と此地に遣て
 金と堀り年々莫大の利益あるよし
 魯西亞にてハ兼て政府より學問の世話ある
 も國も廣きとて田舎の方ハいと十分
 小行届くも國中の人と平均して讀書の出來る
 者ハ百四十人の内に一人の割合なり

魯西亞に陸軍の數甚多し近來ハ又海軍と
 此國ハ歐羅巴の北の方に在て外國より攻寄る
 小甚と不都合なり既ハ千八百十二年即ち我文
 化九年の頃佛蘭西の君ハ海邊に人住をばして
 といふ人六十万人の大軍と帥て魯西亞に攻入
 うもそこをといふ都まゝ押寄せるとも魯西亞
 人のまきに取合を自分から其都を焼拂て國の
 奥の方へ立退しうハ佛蘭西人もせんうとなく

軍勢と引上とり此時も佛蘭西の方の大雪に苦
と死人多うりよるまども魯西亞ふいさま
での損亡あうりよるまども魯西亞ふいさま
魯西亞の都べいといふ河
の畔にありよるまども魯西亞ふいさま
里の町糸子の河尻に當りあろんまども魯西亞ふいさま
ふ小島ありよるまども魯西亞ふいさま
き世界中の評判をりよるまども魯西亞ふいさま
にいて鉄張の臺場と築一よるまども魯西亞ふいさま

てもよの臺場と攻落もよの難りよるまども魯西亞ふいさま
魯西亞の寒氣強く冬分り河にも海も氷張詰
て厚さ五六尺にありよるまども魯西亞ふいさま
ろんをたつとまで七八里の間氷の上と騎馬に
て往來をべし右の次第に付冬の間の敵船の襲
來る氣遣もよるまども魯西亞ふいさま
魯西亞ふい家の柄と唱ふる人ありて地面と町持
生涯年期の奉公人と多く召抱て甚ど祐福な
る者ありよるまども魯西亞ふい家の柄と唱ふる人ありて地面と町持

卒に仕立るよとの出来を都て國法の嚴重なり
何事も國帝の勝手次第にて英吉利其外の國々
の如く評議役といふ者あり

魯西亞の英吉利亞米利加などの如く出交易と
專とせむ一体國の産物に國と富一唯地面と
廣めんとして心掛る様子なり既に六七年の支

那滿州の地を取りよともあり然るに今茲の
夏ハ亞米利加にあり魯西亞の領分と七百二十
五方とらるに不殘合聚國一賣渡一と一期

く東の方の地面と取り西の方と棄るに何り深
き目論見のありよとあるに

佛蘭西又法即期

佛蘭西ハ日本と去るよと西の方五千里歐羅巴
繁昌の國々の真中にあり大國なり國中の人数
三千五百万人平地多くして時候程能く草木よ
く成長し五穀よく登る此國ハ産物の多く交易
の繁昌するよといハ英吉利亞米利加に較て少
及むざる所もあまども其外の國々にてハ逆も

佛蘭西と張合ものあつるべし佛蘭西に重なる
 産物ハ小麦蜀黍葡萄の類なり殊に葡萄ハ銘
 産に色々の酒と造り世界中積出を佛蘭西
 の葡萄に酒を造り高一年ふ二千万石より多
 多く酒の種類二百五十種あり此外の産物ハ金
 物油毛織物縮布婦人の髪飾化粧道具等小間物
 多しりよんるといへる所ハ織物の名所にして世
 界中に評判高し
 佛蘭西ハ學者多く世界第一といふべき學

問所あり殊に佛蘭西語ハよき言葉にして歐羅巴
 の諸國にてよきことと調法せり人の評判に世界
 不廣く通用をりハ英吉利語に限り言葉の上品
 なるハ佛蘭西語に限りといふ程のよしなり
 此國の人の勇氣なく何事とすべし手早し且
 一休ハ華美なる風俗にて芝居鳴物等を好む食
 物よりも衣服の方ハ奢る者多し即ち佛蘭西人
 の着倒なり
 佛蘭西の政事ハ七十年以來度々改革して今

り二十年以前の頃ハ暫ク輪番持の政府となり
一が嘉永五年乃以てなほはかんといふ人策略
と以て天子となり即ち今の佛蘭西帝をば
んなり此人ハ一項零落して一錢なり諸國と
流浪せし程の有様なり一が
一人に天子の位即てより國中の政事を自
分一人引受て内外の事としき様取斗の外
國と合戦をせむつも勝利を得て國內の人
のなほを歐羅巴諸國の人までも佛蘭西帝と

ハ八歳皇妃ハ不相應に若し評判の美人なり太子
一人あり年十一才
佛蘭西の陸軍ハ古より大造なるものにて六十
年斗以前なほはかんやをわすてのときハ歐羅
巴中と切從つし程のあとなり當時も魯西亞の
陸軍ハ引續く程の人数あり但し海軍ハ魯西亞
よりも盛にして唯英吉利不及をさすの
佛蘭西の都をわすといふ其奇麗なるあと歐

條約二國巴

十四

羅巴州中の第一に即ち世界第一の都と云ふ
 づし市中の家ハ六階七階に立並ひ夜分の往來
 以萬燈を照らして晝夜の差別なく其繁昌華美
 なるあと譬んぐとまり但し人の數ハ百万人餘
 なく都の廣さも英吉利の「ろんどん」より狭し
 日本に似たり「バむり」の「大坂」に似たり「ろんどん」
 ハ江戸に似たり

葡萄牙

葡萄牙の西南にあり此國往古ハ盛に

して渡海ハ骨と折り亞非利加の喜望峰を廻り
 印度海一往來の乗筋を開きとる者も葡萄牙人
 あり其時の世界中に領分多く頻ハ出交場を勉
 て既ハ足利時代の末ハ九州に來て交易せし
 末ともありし其後次第に衰微して當時ハ歐
 羅巴に於ても更ハ勢力なき國となり人の數三百
 五十万人に足らむ時候ハ程よく菓實多し産物
 ハ酒塩油等あり羊毛も此國の産物なれども主
 是と羅紗に織るあとを知らむ毛の俵に外國

一積出し却る外國の羅紗を買込む様子なり政
府より學問の世話行届うむ國の人都市皆弱に
して何事おも出精まる出とる一國中の蒸氣車
の路も少くして商賣繁昌せむ婦人の頂に野菜
物と載て市中に賣出すまどの余程田舎らりさ
風俗なり
葡萄牙の都りをほんいたくといふ河の口にありて
景色よし此河口の入海となりて船掛もよ
く昔ハ繁昌なる港なり一由りきとも此節ハ交

易も少し且彼國の千七百五十五年即ち我寶曆
五年の頃大地震のためは市中の建物不殘潰
今日に至るまで旧の如く普請も出來ざりて家
並宜しうらむ此地震のときりもやんの死人三
万人なりといふ
李漏生又普魯士又知らぬ
李漏生ハ東の方魯西亞に界し西の方佛蘭西白
耳義和蘭ハ界し領分の内東西二に分て其間に
他國あり國中の人別千六百万人英吉利佛蘭西

など、肩と比ぶ大國あり
 國中平地多く牧と開く牛馬羊と飼ひ五穀もよ
 く登る外國との交易のあまり繁昌せざること
 國の産物のい木綿毛織物鉄の道具類多し又
 ろんといふ所の香水を製する名所なり日本に
 船來する香水も多く此所にて出來たるもの
 り
 字漏生の都とて、とんとといふ學問所多し都
 此國に學問の世話よく行届き牢屋の中の罪

人にまで書と讀むる風俗あり故に國中の人
 田舎の隅まで大抵讀書の出來ざる者あり世
 界中一番の文國といふ處
 字漏生ハ昔より陸軍の法よく行届き國中の男
 子に不殘訓練と仕込る合戦のときハ國舉て
 戰場に向ふ仕來おせり近來ハ益々去を盛に
 且びをまふくといふ英雄の人執權職に居る
 國の政事向と取扱ひ一昨年の丁抹と戦ひ去年
 の夏ハ又澳地利と戦く何れも去れに打勝ち東

西の領分二の間におり一國とも攻取今一
 圓の大國とるまう當時歐羅巴にう字漏生とい
 一が實に日の出の勢あうおまを恐まざるもの
 あり今茲の夏も佛蘭西と仲違してやがて西國
 の大合戦ともあるべき様子あり一がよる仲人
 ありと無事に和睦しとり佛蘭西ほどの大國に
 ては字漏生は手強を相手あり
 字漏生にハもと海軍あり一がとも十六七年
 前より軍艦と造り當時の海軍も相應に盛なる

よー
 瑞西一名瑞士又「をのま」又
 瑞西ハ歐羅巴第一番の山國あり海あり國中の
 人別二百四十万人に足らざる小國おまども政
 事向よく行届く風俗より國の人都市きりと重
 んト國と大切に思ひ正直一片にう惡事とをる
 者甚ど少く何事おも出精して學問の道も開け
 産物も多し
 此國の政事の寄合持にう國王もあく亦大統領

といふ者もあ一國と二十一郡に分く一郡より
 二人づゝ評議役と出しまと上院といひ又國
 中の入別二万人の内より一人づゝの割合
 評議役と人撰しておれと下院といふ何れも三
 年づゝの交代あり斯く上下二組の評議役と立
 べらんといふ都に寄合る國の政事と取扱ふ
 とあり
 國中平地少くして農業に不都合な是と人
 のカに穀物も出來牧とも開く牛馬多し殊に

此國の馬ハ小形に山坂と越るに丈夫なり又
 せねこといふ湖水の畔にせねこといふ市中あ
 り瑞西國中一番繁昌る所に世界に名高き
 時計の名所なり日本多とに舶來する時計も大
 抵せねこといふ出來たるもの多し此所に一年
 の間に製する袖時計の數二十三萬其外置時計
 ありおる指輪等小間物と造る職人三萬人より
 も多しといふ
 瑞西の山國に湖水多く山水の景色甚どよ

さきども寒氣強くして春夏秋冬山の頂に雪の
消るまとも春さきに雪解のときハ山の上よ
り雪の塊潰へ落く往來の人と打殺し或ハ村の
百姓家と押潰まともあり又此國にあるをいん
まむにひるとて大なる犬ありよく人のいふ事
と聞く冬の間ハ寺の供養にこの犬と山路に出
し雪に埋り一人と鯁付く人命と救しむると
いふ

白耳義又トトトト

白耳義ハ和蘭と佛蘭西との間にあり小國な
ども土地の割合にしてハ人の数多く國中の人
別四百四十人あり土地柄よくして農業の行
届とるハ歐羅巴第一あるべし産物の五穀茜根
麻煙草等又白炭の多くして鉄類其外の金物と
製するまとい英吉利に續く盛なり
白耳義の都とふろつせりまといふ市中甚と奇
麗なり土地の名産にハ毛織の鋪物ありと色よ
り南の方四五里の所に「わあとりろ」といふ古

戰場あり即ち彼國の千八百十五年文化十佛蘭
 西帝がほまかんがをむるて英吉利の名將あり
 りんとんと合戦して佛蘭西の軍勢敗北せし所
 まり此國に昔より度々大合戦ありて今に
 も方々に城跡多し
 白耳義の内ふく最も商賣の繁昌する所と
 といふといふ此所より方々へ蒸氣車の路も
 通し且國中に堀割の川多くて運送の便利甚
 ざりし市中ふ天主堂あり高さ四一四丈一尺也

小珍ら一寺あり
 白耳義の四五十年前暫く和蘭の支配ありし
 彼國の千八百三十年天保宗旨などの志に付
 彼是議論ありて遂に兩國相分を別々の王國と
 たりしより双方の居合もよく太平無事に
 今日までに及べり初代の白耳義王とせし
 どとひひ去年死すし今に二代目なり

伊太里 撒丁名撒而地泥亞又

伊太里の往古羅馬といひ一國に歐羅巴の南

に於て地中海といふ海に張出したる細長き國
なり此内に幾個も小國あり一ダ十年斗以來其
北の方にありさるにやといふ國追々に強く
なりて伊太里の國々と大抵不残押領せしより
さるぢふやといふ名と兼唯伊太里と唱て世間
に通用さるなり
伊太里の時候暖にして且風景のよき場所多し
風流人の好む國なり産物の米麥蜀黍酒油葡萄
密柑等菓實も多し又此國の北の方にてハ蘭と

養ひ縮糸糸に反物とも織る外國へ積出をよと
多し
伊太里の地方と離る西の方にさるぢふやとい
ふ大なる島あり鱈の取る所にて此鱈と塩と
油と漬けぶりつさの箱に詰り方々へ積出を年
月と經る味の替りよとありこの鱈の漬物とさ
るぢふやといふ一ハ世界中に通用する程の名産
なり日本にも舶來しさるものと折節見掛るま
とあり

伊太里人の彫刻書画音楽と上手に
體の性質氣輕に物事によく感心する
風俗あり又家作の立派にする風
あり普請も上手あり家柄の人
なるとい國王の宮殿にも劣らぬ
程の構内に住居とる者あり

伊太里の都とふるんまといふ
伊太里國中番家並のよる市
中たり又ゼのわといふ所外
國交易の繁昌とる港なり即ち
此所へ今より三百七十年前
切と亞米利加州と見出したる

ろんびのまといふ人の生故郷あり
伊太里へ當時新出來の大國に
海軍陸軍ともに盛なり去年の夏
も澳地利と大合戦をして船
帥おの敗北とさども陸軍の方
へさまで負もせざりしよ軍艦
の数六七十艘もあり且此國
の人へ元來海に馴し風俗なる
由へ行々の海軍盛にこそ英吉
利に續くほどの勢にもなる
一との評判なり

丁抹加又噠國い又弟那瑪尔

丁抹ハ 往古歐羅巴の北の方以於る大國と呼ぶ
 一國を基とも當時ハ大に衰微して昔の姿にあ
 らむ國中の人別百五十万人北國の割合に
 ハ時侯格別寒うらす土地柄ハよく五穀も
 出來且漁獵と渡世にむるもの多し此國ハ石
 炭鉄の出る山多く又水車ると仕掛る場所も
 不自由にして織物金物等の産物少し但し商賣
 ハ随分繁昌あり
 丁抹の人ハ一休正直にして物事に出精き了風

俗を基とも昔の仕來と改革をるふとの不得手
 あり學問ハ流行して政府よりの世話もよく行
 届き國中に學問所の數甚多し子供の七才よ
 り十四才までの間ハ必ず學問所ハ行くと教を受
 る國法あり
 丁抹ハ本國の地續ハ日耳曼へ界し居るをち
 んをれをわつといふ二國と支配し居たり
 一昨年亨漏生と澳地利とと相手にして合戦
 と始め遂に敗北して此二國と亨漏生に取らる

下^{シマ}抹^マの都^トと^シあ^ハへん^トを^シあ^ハへ^トとい^フふ^シ歐^ウ羅^ラ巴^バの^ノ北^キ方^{ホウ}
 に^シ名^ナ高^{カウ}を^シ市^シ中^{チュウ}に^シく^シ船^{セン}入^ニの^ノ場^{バウ}所^{ショ}も^シ多^タく^シ上^ウを^シ港^{カウ}を^シ
 條約上^シ一^シ國^{クニ}記^キ終^マ

水の社
 野放草

北の社

北の社
行場

洋学文庫

文庫 8

C 279